

MPC-701ソフト概要解説書



はじめに

本書は、ペン P C（弊社開発名：MPC-701）のソフトウェア仕様について記載しています。
本仕様書の記載内容にもとづき、製造、及び納入を行います。

第1章	製品概要	1
第2章	システム概要	2
2.1	リリースの範囲.....	2
2.2	ソフトウェア構成.....	2
第3章	WINDOWS の設定	4
3.1	画面のプロパティ.....	4
3.2	システムのプロパティ.....	4
3.3	電源管理のプロパティ.....	4
第4章	モバイルコックピット (MOBILE COCKPIT)	5
4.1	概観.....	5
4.2	搭載機能.....	6
4.3	マルチユーザー対応.....	7
第5章	PEN ツール系ソフトウェア	8
5.1	構成概要.....	8
5.2	機能概要.....	8
5.3	画面概要.....	9
5.4	メッセージAPI.....	10
5.5	キャリブレーション.....	10
第6章	その他のユーティリティ	11
6.1	180度回転ツール.....	11
6.2	バッテリー情報ツール.....	11
第7章	ユーザーバックアップシステム	12
7.1	ユーザーバックアップシステム機能概要.....	12
7.2	ユーザーバックアップシステム動作概要.....	13
第8章	デバイス	15
8.1	オプションデバイス / 動作確認デバイス.....	15
8.2	IRDA.....	15
8.3	外部モニタ.....	15
8.4	USB.....	16
8.4.1	デバイスのサポート.....	16
8.4.2	転送速度.....	16
8.5	バックライトスイッチ / テンキーロックスイッチ.....	17
8.5.1	バックライトスイッチ.....	17
8.5.2	テンキーロックスイッチ.....	17
8.6	バッテリー.....	18
8.7	本体キーによる文字入力.....	19

第9章	BIOS一般要件	20
9.1	概要.....	20
9.2	ブートデバイス.....	20
第10章	LOGIN画面	20
第11章	HDDのパーティション構成	21
第12章	システムの再構築	22
12.1	HDDを工場出荷構成にする.....	22
12.2	HDDにWINDOWS 2000のみ導入.....	24
第13章	使用上の注意	25

第 1 章 製品概要

製品名: MPC-701

搭載 CPU: Transmeta Crusoe™ TM5800 (800MHz)

搭載 Memory: Main 128MB + Option 256MB (MAX 384M)

搭載メモリの内、CMS ワークエリアとして 16MB 使用します。

搭載 HDD: 20GB

搭載 OS: Windows 2000 Professional SP2

第2章 システム概要

2.1 リリースの範囲

MPC-701 は Windows 2000 Professional を基本ソフトとする、手書き文字入力を採用した企業向けモバイル・コンピュータです。

2.2 ソフトウェア構成

以下に工場出荷状態のソフトウェアバージョンについて記述します。

[リカバリー時の収録媒体 : W= Windows2000 Professional CD-ROM / R= Recovery CD-ROM]

基本ソフトウェア

ソフト名称	用途・説明	リカバリー時の収録媒体
Windows 2000 Professional	Service Pack 2 (5.00.2195) + Hotfix (Pre SP3) IE は Ver5.5 SP1 を使用	W

Windows2000 は NTFS でプリインストールされています。

バージョン、対象機種については、Appendix「バージョン管理 - ソフトウェア - 基本ソフトウェア」を参照してください。

ドライバ

ソフト名称	用途・説明	リカバリー時の収録媒体	
Lucent Technologies Soft Modem AMR	Lucent Technologies 社ドライバ	R	
Ali Audio Accelerator WDM Driver	Acer Laboratories Inc ドライバ	R	
Silicon Motion Lynx	SMI 製ディスプレイアダプタドライバ	R	
Realtek PCI Fast Ethernet Adapter	Realtek Semiconductor 社製 LAN ドライバ	R	
Touch Panel	富士通高見澤社タッチパネルドライバ	R	
Panasonic KXLC005	九州松下社製 CD-ROM ドライバ	R	
Panasonic CBIDE2	(CardBus Mode)	IO-DATA 製 RV624D DVD-ROM 32Bit ドライバ	R
	(16Bit Mode)	IO-DATA 製 RV624D DVD-ROM 16Bit ドライバ	R
CF BCR (Bar Cord Reader)	CASIO 製 DT-5057CBCR ドライバ	R	
IrDA	Acer Laboratories Inc ドライバ	R	
USB 2.0	Microsoft ドライバ	R	
CASIO Keyboard Driver	CASIO 製 キーボードドライバ	R	
CASIO SPEEDIA N5 Printer Driver (N5 CD-R)	CASIO 製 プリンタドライバ	R	
CASIO SPEEDIA N4-614 Printer Driver (N4-614 CD-R)	CASIO 製 プリンタドライバ	R	
CASIO SPEEDIA CP-8000 Printer Driver (N4-612/N4)	CASIO 製 プリンタドライバ	R	

バージョン、対象機種については、Appendix「バージョン管理 - ソフトウェア - ドライバ」を参照してください。

カシオ提供ツール

ソフト名称	用途・説明	リカバリー時の収録媒体
MobileCockpit	MPC-701 専用の電源管理ツールです。システム全体の監視および制御を行なうコントロールバーと、登録したアプリケーションを起動するアプリケーションバーを備えた実行補助ユーティリティです。	R
MobileWriter	MPC-701 専用の手書き用ツールです。	R
MakeKeyboard	MPC-701 専用のソフトキーボードです。	R
状態レポートツール	MPC-701 専用のデータ収集ツールです。	R
画面回転ツール	MPC-701 専用の画面回転ツールです。	R
Calibration Tool	キャリブレーションツールです。	R
Recovery Program	自己完結が可能なユーザーバックアップツールです。 PC-DOS、Ghost を搭載。	R
CF BCR (Bar Cord Reader) デモソフト	BCR デモ用ソフトです。	R

バージョン、対象機種に関しては、Appendix「バージョン管理 - ソフトウェア - カシオ提供ツール」を参照してください。

添付ソフト

ソフト名称	バージョン	補足	リカバリー時の収録媒体
Acrobat Reader 5.0	Ver.5.01	PDF フォーマットファイル表示ソフト	R

バージョン、対象機種に関しては、Appendix「バージョン管理 - ソフトウェア - 添付ソフト」を参照してください。

第3章 Windows の設定

工場出荷時の Windows の設定について記述します。

3.1 画面のプロパティ

画面のプロパティでは以下のものを設定します。

- (1) 壁紙
- (2) スクリーンセーバー

設定内容とマスターディスク・バージョンに関しては、Appendix「バージョン管理 - Windows の設定 - 画面のプロパティ」を参照してください。

3.2 システムのプロパティ

システムのプロパティでは、以下のものを設定します。

- (1) サポート情報

設定内容とマスターディスク・バージョンに関しては、Appendix「バージョン管理 - Windows の設定 - システムのプロパティ」を参照してください。

3.3 電源管理のプロパティ

電源管理のプロパティでは、以下のものを設定します。

- (1) バッテリ低下の警告
 - ・通知方法
 - ・電源モード
- (2) バッテリ切れの警告
 - ・通知方法
 - ・電源モード

設定内容とマスターディスク・バージョンに関しては、Appendix「バージョン管理 - Windows の設定 - 電源管理のプロパティ」を参照してください。

第4章 モバイルコックピット (Mobile Cockpit)

モバイルコックピット は、電源管理機能、バッテリー監視機能、状態レポート機能、ランチャー機能等を搭載した常駐プログラムです。

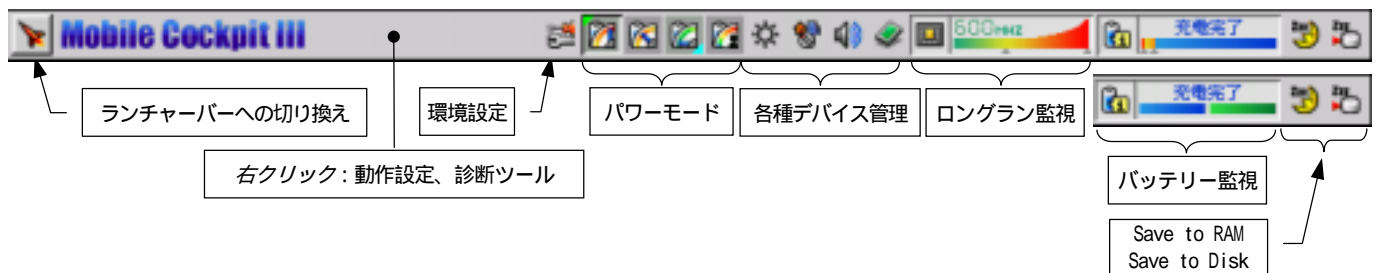
4.1 概観

1. デスクトップ配置

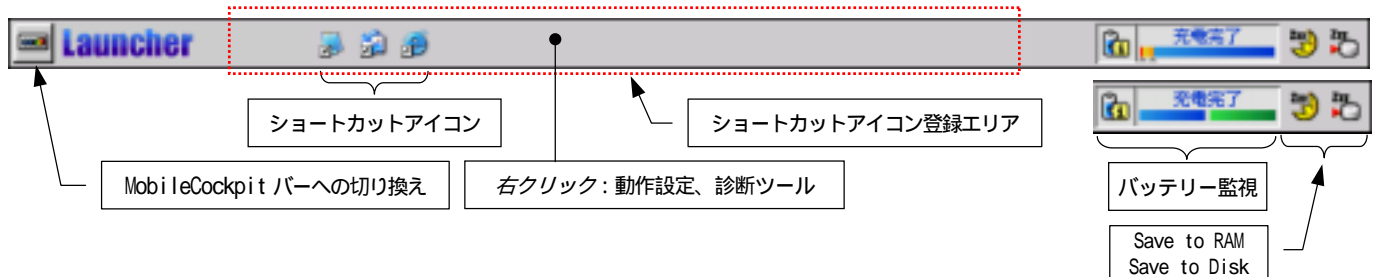
工場出荷時、モバイルコックピット はデスクトップ上部に配置されます。(下図参照)
 デスクトップ上部の他、下部、左部、右部、フローティングの配置が可能です。



2. モバイルコックピットバー



3. ランチャーバー



4.2 搭載機能

モバイルコックピットバー

機能名称	機能内容
ランチャーバーへの切り換え	ボタンを押下する毎に、モバイルコックピットバー ランチャーバーを切り換えます。
動作設定	
自動的に隠す	チェックをオンにすると、モバイルコックピットバー（ランチャーバー）にアクセスが無い場合、画面から隠します。マウスアイコンが画面端に触ると出現します。
常に手前	チェックをオンにすると、モバイルコックピットバー（ランチャーバー）が他のコントロールと重なる場合、優先して手前に表示されます。
効果音を有効にする	「効果音を有効にする」をチェックすると、バーを操作する場面で効果音を鳴らします。
LAN 接続切り換えを使用する	チェックをオフにすると、本体内蔵の LAN デバイスを一切使用不可にします。
ヘルプ	モバイルコックピットのヘルプです。
バージョン情報	モバイルコックピットのバージョン情報です。
状態レポートツール	コンピュータの状態をレポートします。（結果のテキストファイル化が可能です。）
モバイルコックピットの終了	モバイルコックピットを終了させます。
設定	
ワンタッチ操作ボタンの設定	Fn と [.] [-] [SPC] キーを組み合わせる事で起動するプログラムを指定します。
ウェイクオンタイマーの設定	スタンバイまたは休止状態から復帰する日時を指定します。
パワーマネージメントの設定	ユーザー独自のパワーマネージメント方法を設定します。 また、プルパワーモード / ノーマルモード / エコノミーモードの設定内容も確認できます。
環境設定	本体内蔵 LAN の有効 / 無効、P C 起動中の電源ボタン操作時の動作の設定します。
パワーマネージメント	
プルパワーモード	このボタンを押下すると、スタンバイや休止状態を含め、一切のパワーマネージメントを行わず動作します。
ノーマルモード	このボタンを押下すると、処理能力を重視したパワーマネージメントで動作しますが、一定時間 P C を使用しないと、スタンバイまたは休止状態になります。
エコノミーモード	このボタンを押下すると、消費電力を重視したパワーマネージメントで動作します。
ユーザーモード	このボタンを押下すると、ユーザーが設定したパワーマネージメントで動作します。
デバイス管理	
液晶輝度調節	液晶のバックライト輝度を調節します。
LAN 接続切り換え	最大 16 個所のネットワーク接続の設定が行えます。また、使用場所に応じた設定内容に簡単に切り換える事ができます。
音量調整	スピーカの音量を調節します。
PC カードプロパティ	PC カードのプロパティ（Windows 標準）を表示します。
ロンگران	
ロンگران設定	動作 CPU クロックを設定します。（固定・一定範囲）
ロンگران監視	CPU パフォーマンス（速度 / 電圧）を、リアルタイムにインジケータ表示します。
バッテリー	
バッテリー設定	ローバッテリー時の警告内容を設定したり、バッテリー情報を表示したりします。
バッテリー監視	バッテリーの充電率を、リアルタイムにインジケータ表示します。
スタンバイ（Save to RAM）	このボタンを押下するとスタンバイ状態に入ります。
休止状態（Save To Disk）	このボタンを押下すると休止状態に入ります。

モバイルコックピット の機能詳細に関しては、別途「モバイルコックピット 機能仕様書」を参照してください。

- ロンگران設定 (1) 一定範囲では自動的に周波数が変更されます。
(2) 熱によって上限値が固定される場合があります。

ランチャーバー

機能名称	機能内容
モバイルコックピットバーへの切り換え	ボタンを押下する毎に、モバイルコックピットバー ランチャーバーを切り換えます。
動作設定	
自動的に隠す	チェックをオンにすると、モバイルコックピットバー（ランチャーバー）にアクセスが無い場合、画面から隠します。マウスアイコンが画面端に触ると出現します。
常に手前	チェックをオンにすると、モバイルコックピットバー（ランチャーバー）が他のコントロールと重なる場合、優先して手前に表示されます。
効果音を有効にする	「効果音を有効にする」をチェックすると、バーを操作する場で効果音を鳴らします。
LAN 接続切り換えを使用する	チェックをオフにすると、本体内蔵のLAN デバイスを一切使用不可にします。
ショートカットアイコン	表示されているショートカットアイコンを押下することで、プログラムが起動します。また、ショートカットアイコンはランチャーバー上で自由に登録 / 削除 / 移動ができます。
バッテリー	
バッテリー設定	ローバッテリー時の警告内容を設定したり、バッテリー情報を表示したりします。
バッテリー監視	バッテリーの充電率を、リアルタイムにインジケータ表示します。
スタンバイ (Save To RAM)	このボタンを押下するとスタンバイ状態に入ります。
休止状態 (Save To Disk)	このボタンを押下すると休止状態に入ります。

4.3 マルチユーザー対応

モバイルコックピット は、ログインユーザー毎に設定状態を保持するマルチユーザー機能を搭載しています。

(「バッテリー監視」機能の様なシステム全体に対する機能については対象外です。)

マルチユーザー機能に対応するには、ログインしたユーザーが Administrator 権限を持っている必要があります。

Administrator 権限を持っていないユーザーでログインした場合、以下の制約があります。

(1) パワーモードの変更は一切行えません。

パワーモードの変更を行うと、「権限が無いので変更できない」エラーダイアログが表示されます。

(2) パワーマネージメントは、Windows の「電源の管理」の内容に従います。

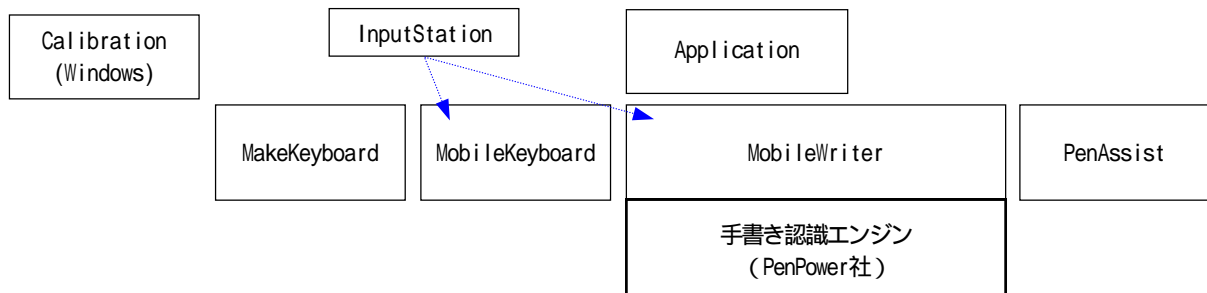
パワーマネージメントの動作は、Windows の [コントロールパネル] - [電源の管理] の設定内容で

動作します。また、Windows の [電源の管理] においても変更を行うと、「権限が無いので変更できない」エラーダイアログが表示されます。

第5章 PEN ツール系ソフトウェア

5.1 構成概要

PEN ツール系ソフトウェアの構成概要を以下に記述します。



5.2 機能概要

PEN ツール系ソフトウェアの機能概要を以下に記述します。

ツール名	機能概略
MobileWriter (モバイルライター)	フリーエリア手書き入力を採用した、手書き入力ソフトウェアです。 ・フリーエリア手書き入力を採用し、アプリケーションが使用できる画面域を最大限拡大。 ・入力補助ツールの搭載。
MobileKeyboard (モバイルキーボード)	基本的にハードウェア・キーボードのソフトウェア・エミュレーションです。 ・「標準キーボード」の他に業務に特化した「業務キーボード」との簡易切り換えが可能です。
MakeKeyboard (メイクキーボード)	ソフトウェア・キーボードのレイアウトを自由にカスタマイズするソフトウェアです。 ・MakeKeyboardで作成したキーボードは複数保存が可能で、MobileKeyboardから切り換えが可能です。
PenAssist (ペンアシスト)	MobileWriterによる手書き文字入力を補助する文字列検索アプリケーションです。 ・「ユーザー辞書」「外部辞書」と連動する事により、オペレータによる手書き処理を極力少なくします。
InputStation (インプットステーション)	MobileWriter、MobileKeyboardの起動/終了、表示/非表示等を制御します。
Calibration	実装キー（ファンクションキー）の押下、または MobileCockpit により専用キャリブレーションソフトウェアを起動します。 実装キー : [Fn] + [.] を同時に押下。 MobileCockpit : [スタート] [プログラム] [FIVA ツール]... を実行。

800×600モード以上のアプリケーションを作成した場合、正常に動作しません。

業務キーボードのカスタマイズは、SE等により MakeKeyboard で事前にカスタマイズする必要があります。

学習辞書（手書き認識エンジンが保有）は登録ユーザー毎に1つ存在します。

キャリブレーションは800×600モードのみサポートします。

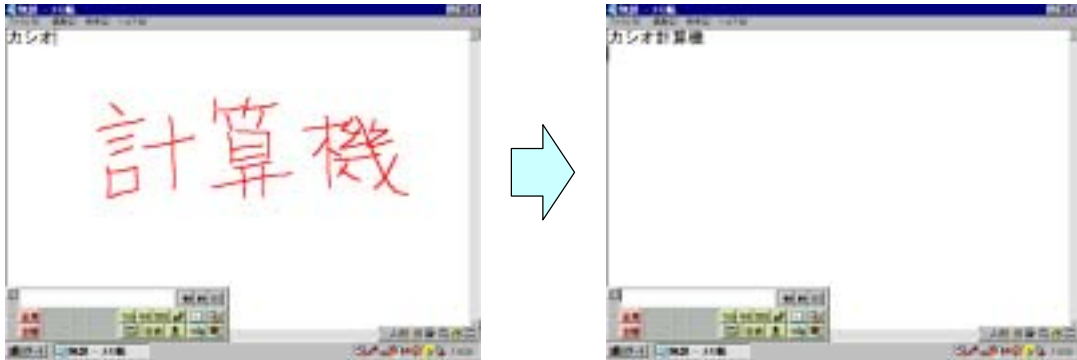
5.3 画面概要

PEN ツール系ソフトウェアの画面概要と操作例を以下に記述します。

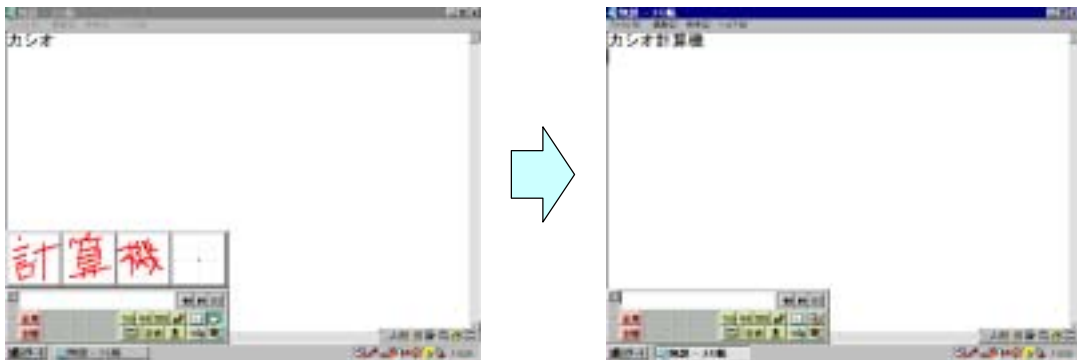
1. MobileWriter

MobileWriter には2つの入力方法があります。

フリーエリアからの文字入力



入力枠からの文字入力



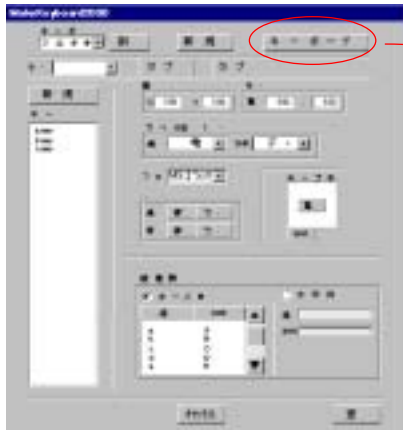
2. MobileKeyboard



上記ソフトウェア・キーボードのデザインは標準キーボードです。

3 . MakeKeyboard

ソフトウェア・ボードのカスタマイズ画面。



キーボードレイアウト確認



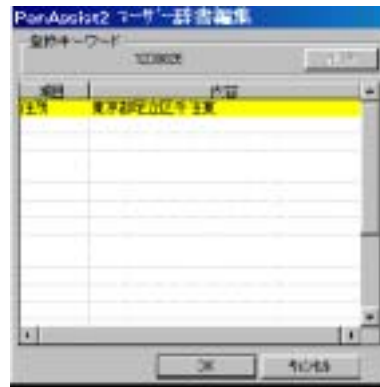
4 . PenAssist

基本操作の画面。

下記は、東京都の郵便番号で住所の入力が簡易に可能になる例を示しています。



メイン画面



候補画面



外部辞書設定画面

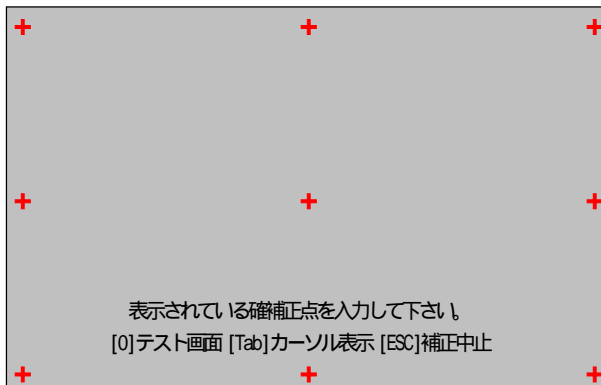
ユーザー辞書として CSV 形式で取り込みが可能。

5.4 メッセージAPI

Mobi leWriter, Mobi leKeyboard のメッセージ API に関しては、Appendix 「メッセージAPI」を参照してください。

5.5 キャリブレーション

キャリブレーションツールを起動した場合の画面を以下に記述します。



キャリブレーションは、Administrator 権限を持ったユーザーのみ実行することができます。

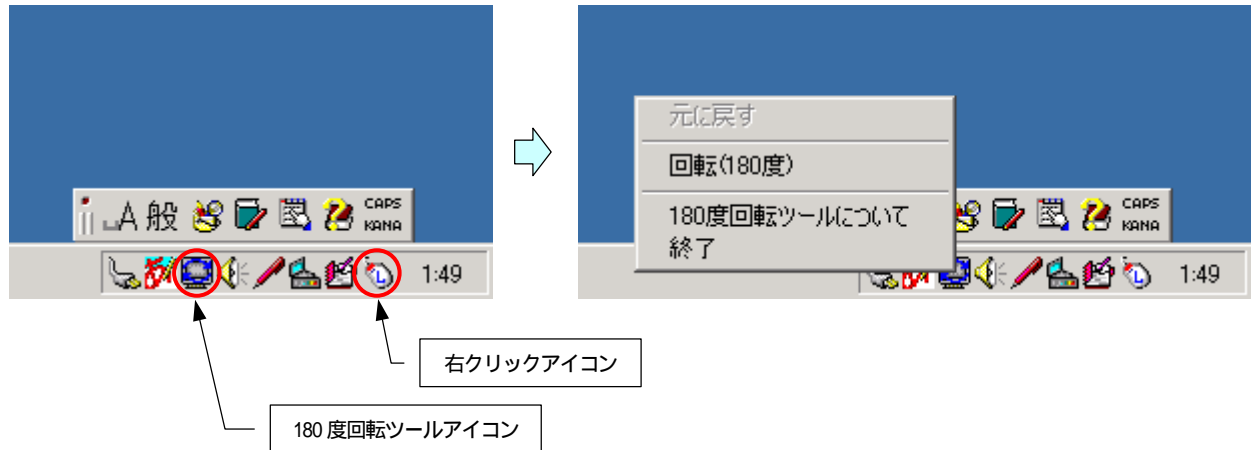
実際には、+ マークは左上から右下に順番に 1 つずつ表示されます。

第6章 その他のユーティリティ

6.1 180度回転ツール

180度回転ツールは、Windows デスクトップを逆向き表示（180度回転）を行うものです。

タッチパネルの向きも180度回転し、完全な逆向きでの操作が可能となります。



タスクトレイ上の「180度回転ツール」アイコンを右クリックし、表示される操作一覧から「回転(180度)」を選択します。画面を元に戻す場合は同じ操作をします。

180度回転ツールは、800×600 High Color(16ビット) 以外の設定では動作しません。

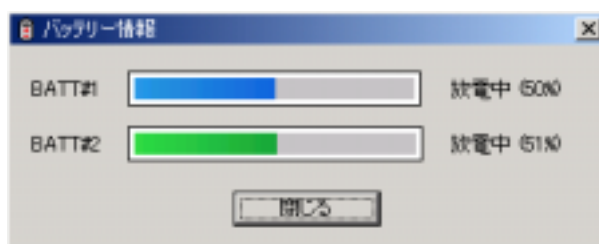
Silicon Motion 社提供のコントロールプログラムに同様の機能がありますが、こちらは使用しないで下さい。

画面の方向しか変更されないため、タッチパネルの動作が逆になり、非常に操作しづらくなります。

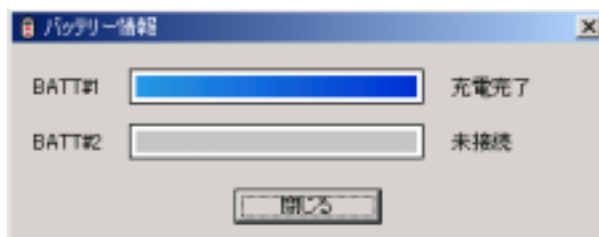
6.2 バッテリー情報ツール

バッテリーの装着状態と装着されているバッテリーの残量の表示を行うものです。

以下にバッテリー情報ツールで表示される画面のサンプルを示します。



バッテリー 2 本装着
電源 = DC (放電中)

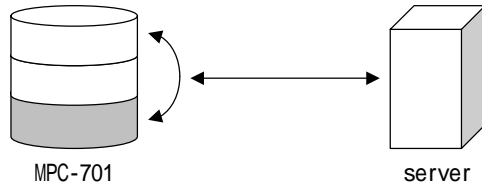


バッテリー 1 本装着
電源 = AC (充電中)

第7章 ユーザーバックアップシステム

工場出荷時、MPC-701 には自己完結が可能なユーザーバックアップシステム機能が搭載されています。

購入後、或いは各種ソフトウェアの導入・設定後にバックアップしておけば、いつでもユーザー自身がリカバリすることが可能です。



HDD に確保したリカバリエリア (5GB) を使用したバックアップ/リカバリ。(自己完結)

Network (LAN) を使用したバックアップ/リカバリ。(サーバーが必要)

リカバリエリアについては、後述の「HDD のパーティション構成」の章を参照してください。

7.1 ユーザーバックアップシステム機能概要

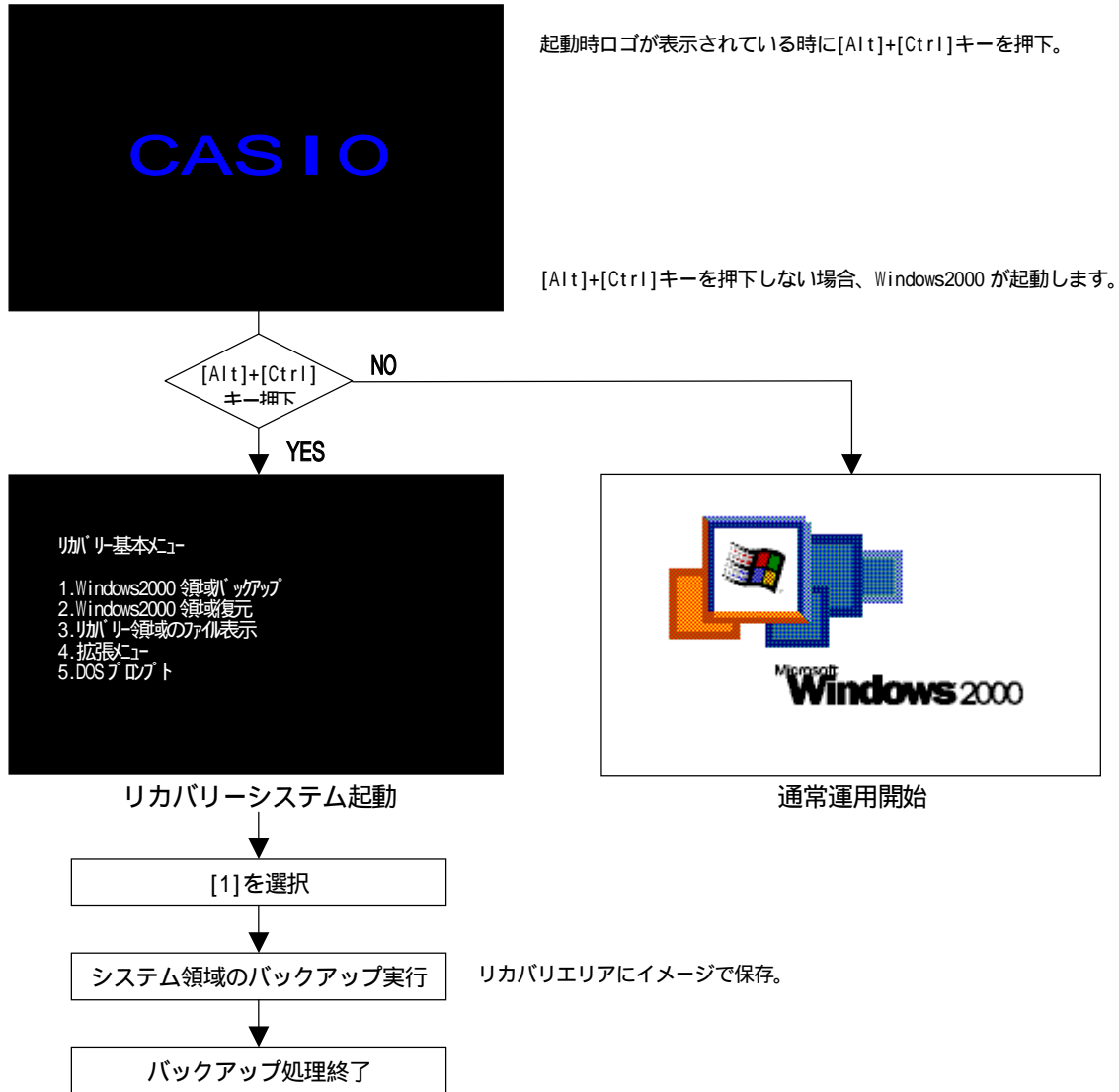
ユーザーバックアップシステムの機能概要を以下に記述します。

機能名	機能概要
基本機能	
Windows2000 領域のバックアップ	システムエリア (Windows2000 領域) をリカバリエリアにバックアップします。
Windows2000 領域の復元	リカバリエリアからシステムエリア (Windows2000 領域) にリカバリします。
リカバリ領域のファイル表示	リカバリエリアにバックアップされているバックアップデータの一覧を表示します。
拡張メニュー	「拡張機能」メニューに移動します。
DOS プロンプト	ユーザーバックアッププログラムを中止して、DOS プロンプト画面になります。
電源 OFF	電源を OFF します。
拡張機能	
Windows2000 領域 リカバリ領域	システムエリア (Windows2000 領域) をリカバリエリアにバックアップします。 「基本機能の Windows2000 領域のバックアップ」と同じ動作。
Windows2000 領域 サーバー	システムエリア (Windows2000 領域) をサーバーにバックアップします。
ユーザー領域 サーバー	ユーザーデータエリアをサーバーにバックアップします。
リカバリ領域 Windows2000 領域	リカバリエリアからシステムエリア (Windows2000 領域) にリカバリします。 「基本機能の Windows2000 領域の復元」と同じ動作。
サーバー Windows2000 領域	サーバーからシステムエリア (Windows2000 領域) にリカバリします。
サーバー ユーザー領域	サーバーからユーザーデータエリアにリカバリします。
基本メニュー	「基本機能」メニューに移動します。

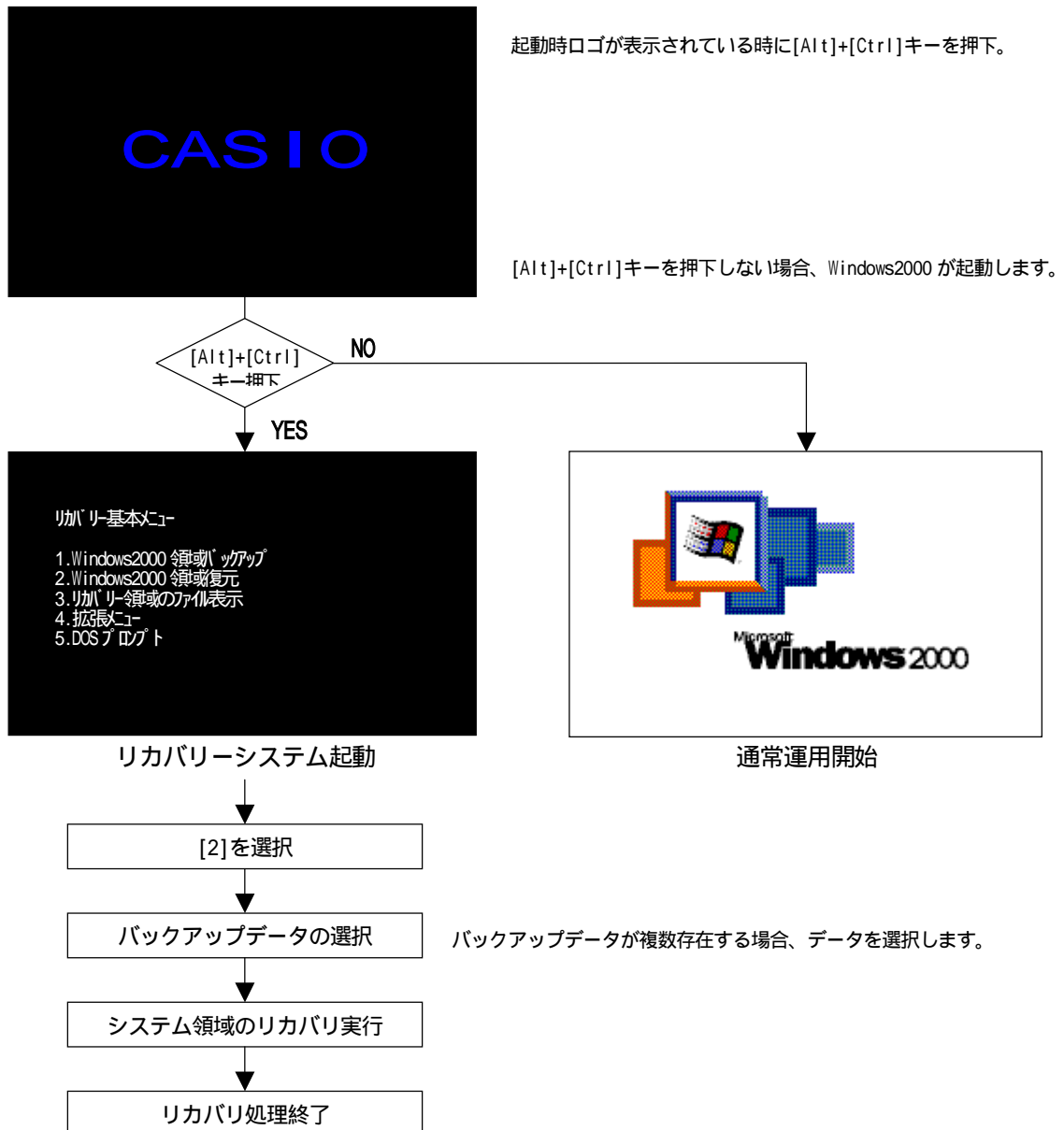
7.2 ユーザーバックアップシステム動作概要

ユーザーバックアップシステムを使用した、システムエリア (Windows 領域) のバックアップとリカバリの操作・動作概要を以下に記述します。

1. バックアップ



2. リカバリ



ユーザーバックアップシステムを用いて作成した Ghost ファイルを使用した、ブータブル CD-ROM を作成する方法を公開します。これにより CD-ROM ブートによるリカバリも可能となります。

(別途 CD-R/RW を用意する必要があります。)

工場出荷状態では、バックアップエリアには一切バックアップデータが存在しません。

(購入後、或いは各種ソフトウェアの導入・設定後に、システムエリアのバックアップを取る事をお勧めします。)

HD に確保したリカバリエリアを使用したバックアップ/リカバリ処理は、システムエリアのバックアップ/リカバリのみのサポートします。ユーザーデータエリアのバックアップ/リカバリはサポートしません。

ユーザーデータエリアのバックアップ/リカバリを行いたい場合は、別途 Network (LAN) を使用したバックアップ/リカバリ、または CD-ROM を使用したバックアップ/リカバリを行う必要があります。

詳細については、別途「ユーザーデータバックアップシステム機能仕様書」を参照してください。

第8章 デバイス

8.1 オプションデバイス/動作確認デバイス

オプションデバイス/動作確認デバイスに関しては、Appendix「オプションデバイス/動作確認デバイス」を参照してください。

連動デバイスについては、動作は保証していますが性能については保証していません。

8.2 IrDA

Windows2000 を使用した場合の、使用形態による制限等について以下に記述します。

通信媒体		動作	備考
IrDA を用いた本体間通信 (相手が MPC-701 の場合)		可能	
IrDA を用いた本体間通信 (相手が Win98 の場合)		可能	
LAN アダプタ JetEye Net (Extended System ESI-9900A,9910A)		不可能	1
LAN アダプタ JetEye Net (Extended System ESI-9900B)	IrPPP モード	可能	2 3
	IrLAN モード	不可能	4
IrDA を用いたプリンター印字		可能	5
IrDA 仮想 COM ポート使用アプリ		可能	6

- 1 ESI9900A,9910A は Windows95,98 までの対応機器のため。
- 2 PPP ですのでダイヤルアップが必要となります。
- 3 DHCP サーバーが必要です。ただし、ESI9900B の新ファームウェア (1.0.9) では IP を固定する事が可能となりますので、DHCP は不要となります。
- 4 Windows2000 では IrLAN はサポートしていません。
- 5 Windows2000 Hotfix (Pre SP3) を使用します。
(2001年8月21日にリリースされている Q252795_w2k_sp3_x86_ja.exe を適応。)
- 6 性能 (例: プリンタの印字速度/品質) については保証致しません。

8.3 外部モニタ

外部モニタは、800×600 モードで使用してください。

8.4 USB

MPC-701 には USB 1.1/2.0 が 1 ポートずつ搭載されています。

向かって左側 = USB2.0 ポート / 向かって右側 = USB1.1 ポート (各ポート共に 500mA までサポート)

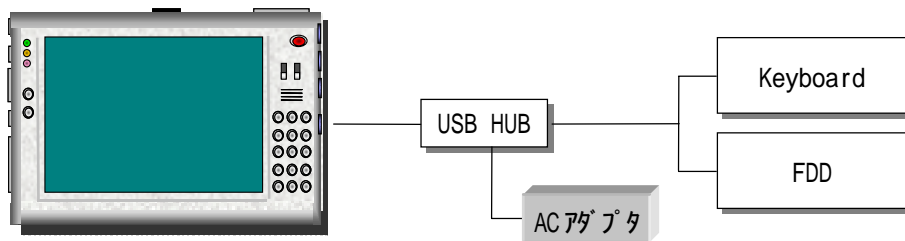
8.4.1 デバイスのサポート

項目	サポート範囲	
	DOS	Windows
USB ポート		
1.1	する	する
2.0	する	する
接続デバイス		
USB FDD	する	する
USB Keyboard	する	する
USB FDD, USB Keyboard 以外	しない	する

DOS 上で FDD/Keyboard を動作 (emulation) させる場合、BIOS は USB1.1 と USB2.0 の両方サポートします。

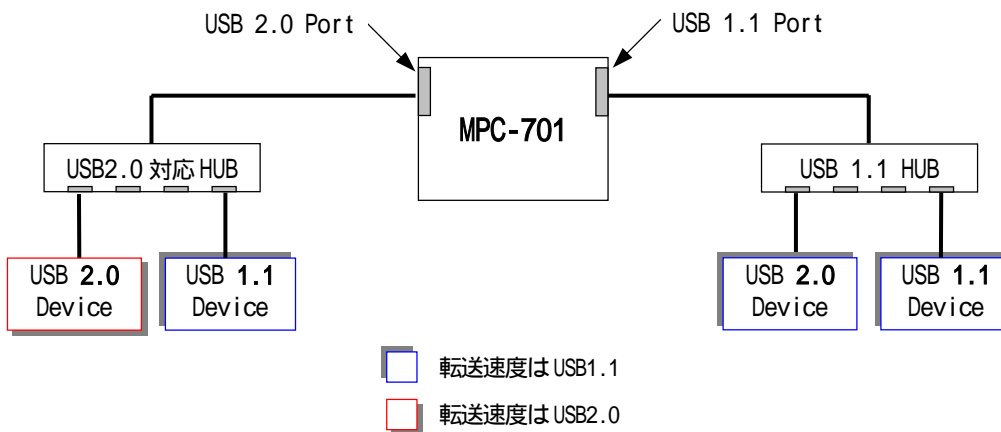
デバイスを 2 台以上接続する場合は、USB HUB を介して接続する必要があります。

USB HUB を使用する場合、接続するデバイス (USB HUB も含む) の消費電流の合計が 500mA を越える場合には USB HUB に AC アダプタが必要となります。



8.4.2 転送速度

接続ポート	接続デバイスの種類	
	USB1.1	USB2.0
USB1.1 ポート	USB1.1	USB1.1
USB2.0 ポート	USB1.1	USB2.0



8.5 バックライトスイッチ/テンキーロックスイッチ

バックライトスイッチとテンキーロックスイッチをサポートします。

スイッチは本体右横に搭載されてます。

8.5.1 バックライトスイッチ

L C Dとテンキーの動作概要を以下に記述します。

電源状態	スイッチ設定	L C D		テンキー部	
		バックライト	輝度調整	照光	輝度調整
S0 : 動作中	OFF	OFF		OFF	
	ON	ON	アプリケーションの設定に依存	ON	固定
	AUTO (センサー)	周囲が明るい=自動 OFF 周囲が暗い =自動 ON	アプリケーションの設定に依存	周囲が明るい=自動 OFF 周囲が暗い =自動 ON	固定
S3 : スタバイ中	ON	OFF		OFF	
S4 : 休止状態中	OFF	OFF		OFF	
S5 : Windows 終了	AUTO (センサー)	OFF		OFF	

8.5.2 テンキーロックスイッチ

テンキーロックスイッチの動作概要を以下に記述します。

テンキー	スイッチ設定		+ Fn キー操作
	FREE	LOCK	
Power	操作可	操作可	
Backlight	操作可	操作可	
KeyLock	操作可	操作可	
0	操作可	操作不可	ディスプレイ変更
1	操作可	操作不可	バックライト輝度 Down
2	操作可	操作不可	バックライト輝度 Up
3	操作可	操作不可	スタンバイ (Save to RAM)
4	操作可	操作不可	休止状態 (Save To Disk) 1
5	操作可	操作不可	音量 Down
6	操作可	操作不可	音量 Up
7	操作可	操作不可	音量 ミュート
8	操作可	操作不可	
9	操作可	操作不可	
Enter	操作可	操作不可	
.	操作可	操作不可	タッチパネル・キャリブレーション (デフォルト設定) 1
-	操作可	操作不可	バッテリー情報ツール (デフォルト設定) 1
Space	操作可	操作不可	表示回転機能 (デフォルト設定) 1
	操作可	操作不可	
	操作可	操作不可	
	操作可	操作不可	
ESC	操作可	操作不可	
DEL	操作可	操作不可	
BS	操作可	操作不可	
TAB	操作可	操作不可	
Alt	操作可	操作不可	
Ctrl	操作可	操作不可	
Fn	操作可	操作不可	2

1 モバイルコクピットが必要

2 +Fn キー操作は、Fn キーを押下した後、該当キーを押下します。

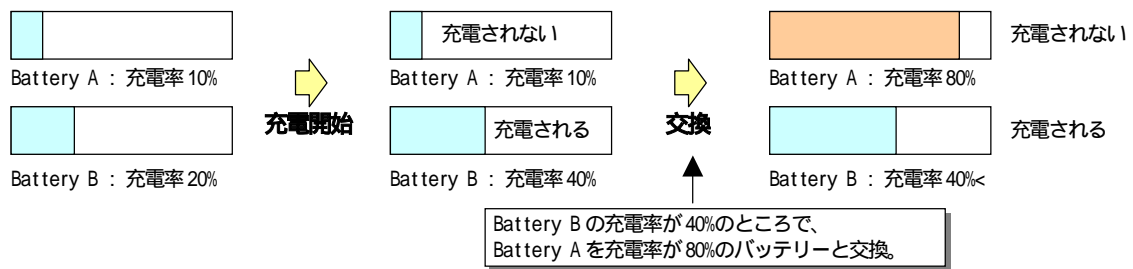
8.6 バッテリ

バッテリーは、1本目 = 標準 / 2本目 = オプションとなっており、2本搭載した場合ホットスワップ（電源をON状態でのバッテリー交換）が可能になっています。

バッテリーを2本搭載した場合の充電 / 放電の動作を以下に記述します。

(1) 充電

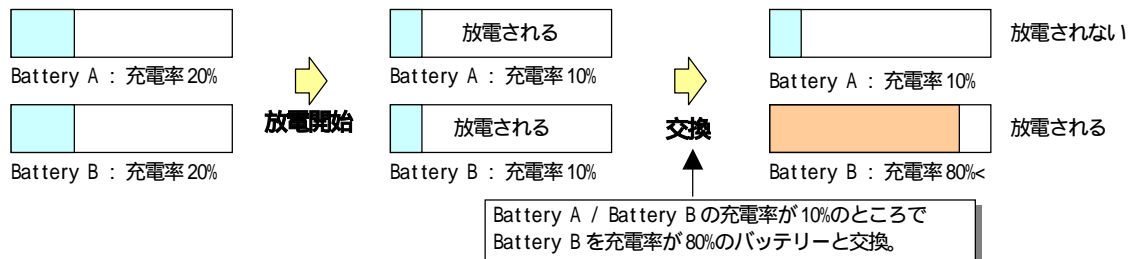
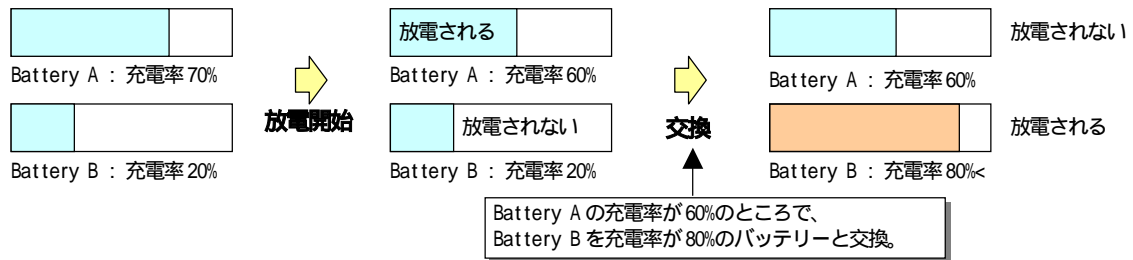
- ・残容量が多い方から充電が開始されます。
- ・充電中のバッテリーが満充電になった時点で、残りのバッテリーの充電が開始されます。
- ・充電待ちのバッテリーを、満充電中のバッテリーより残容量が多いものに交換しても、充電対象となるバッテリーが入れ替わる事はありません。（下図参照）



(2) 放電

- ・残容量が多い方から放電が開始されます。
- ・両方のバッテリー残量が同じになった時点で、両方のバッテリーから放電が開始されます。
- ・残容量が少ない方のバッテリーを、放電中（バッテリー残量が多い）のバッテリーより残容量が多いバッテリーに交換すると、交換したバッテリー残量が多い方のバッテリーから放電が開始されます。
- ・両方のバッテリーから放電中（両方のバッテリー残量が同じ）に、片方のバッテリーをバッテリー残量が多いバッテリーに交換した場合、交換したバッテリー残量が多いバッテリーから放電が開始されます。

(下図参照)



充電容量 100%のバッテリーから、充電容量 0%のバッテリーに充電（移動）する事は出来ません。

8.7 本体キーによる文字入力

本体キーを使用して、手書きキーボードやモバイルキーボードからの入力と同様に文字入力ができます。

1. CTRL キーを使用した文字入力

キー	変換文字	説明
CTRL + '8'	アルファベット全般（昇順） 日本語は母音（a, i, u, e, o）を除く	次の文字を次のカーソル位置に表示させるためには、CTRL キーを離す必要が有ります。CTRL キーを押し続けている限り、現在のカーソル位置に上書きします。
CTRL + '9'	アルファベット全般（降順） 日本語は母音（a, i, u, e, o）を除く	
CTRL + '1'	a（日本語のみ）	CTRL キーを離さなくとも、次の文字は次のカーソル位置に表示されます。日本語入力時の母音入力に適しています。
CTRL + '2'	i（日本語のみ）	
CTRL + '3'	u（日本語のみ）	
CTRL + '4'	e（日本語のみ）	
CTRL + '5'	o（日本語のみ）	

日本語入力するには、IME2000 入力モードにて日本語を有効にし、上表の子音入力と母音入力を組み合わせます。本機の Spc キーにより日本語変換し、Enter キーにより確定します。

2. ALT キーを使用した文字入力

キー	変換文字	説明
ALT + '8'	プロダクト ID として有効なアルファベットを次の括弧内の順で表示 (b c d f g h j k m p q r t v w x y)	次の文字を次のカーソル位置に文字を表示させるためには、ALT キーを離す必要が有ります。ALT キーを押し続けているかぎり、現在のカーソル位置に上書きします。
ALT + '9'	プロダクト ID として有効なアルファベットを次の括弧内の順で表示 (y x w v t r q p m k j h g f d c b)	

第9章 BIOS一般要件

9.1 概要

MPC-701 BIOS でのサポート概要を以下に記述します。

- (1) PCI 2.2 BIOS
- (2) Plug & Play 1.0a BIOS
- (3) Enhanced IDE サポート
- (4) SMBIOS 2.31 サポート
- (5) Minimum APM 1.2 サポート (Power Off function)
- (6) ACPI 1.0b above サポート
- (7) BIOS 書き換えが可能。(DOS 版のみ)

9.2 ブートデバイス

MPC-701 でサポートしているブートデバイスを以下に記述します。

- (1) HD ドライブ
- (2) USB FDD ドライブ (MPC-240FDD)
- (3) CD-ROM ドライブ (MPC-142CDD2)
- (4) DVD ドライブ (MPC-245DVD) 16bit モード
- (5) ATA-Flash カード
- (6) USB CD-ROM ドライブ

第10章 Login画面

Login 画面はMicrosoft Windows2000 標準のものではなく、ソフトキーボード入力を実現する CASIO オリジナルの画面です。



ソフトキーボードはカシオ作成のものになります

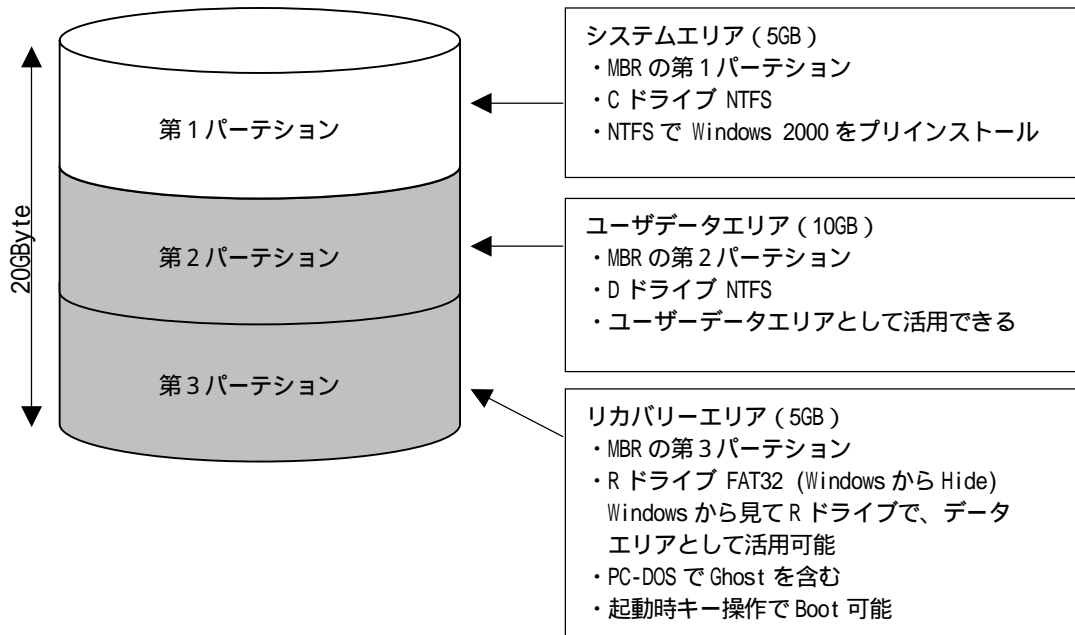
Windows2000 の Login 機能には変更はありません。

ソフトキーボードの表示は通常運用時のみで、OS の再インストール時は外部キーボードが必要になります。

Login 時の手書き入力はできません。

第11章 HDDのパーティション構成

工場出荷時のハードディスクのパーティション構成を以下に記述します。



第3パーティションについて

第3パーティションは、「工場出荷時」と「リカバリ CD-ROM によるリカバリ後」で、Windows から認識される状態が異なります。

H Dの状態	Windows からの認識	
	工場出荷時	R ドライブ
リカバリ CD-ROM によるリカバリ後	E ドライブ	可視ドライブ

工場出荷状態の HD

第3パーティションを可視ドライブにするには、Windows のコントロールパネルなどから手動で R ドライブ以外のドライブへ変更してください。

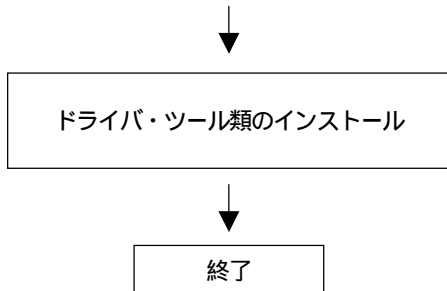
リカバリ CD-ROM によるリカバリ後の HD

第3パーティションを工場出荷時と同じ R ドライブ、且つ隠しドライブとするには、パッチソフト (CASIO 製) が必要となります。パッチソフトはリカバリ CD-ROM に添付されています。



Windows2000 のインストール・ウィザードが開始されますので指示に従いWindows2000 をインストールします。

Windows2000 のインストールが完了したら、Windows2000 CD-ROM を取り出しWindows2000 を起動します。



Windows2000 の起動が完了したら、再びリカバリ CD-ROM をセットします。リカバリ CD-ROM よりドライバ、ツール類をインストールします。

以上で、ほぼ工場出荷状態に近い状態にシステムを復元させる事が可能です。

工場出荷状態との異差点について

リカバリ CD-ROM に添付されているアプリケーションおよびドライバの全てをインストールした場合でもHD の内容を工場出荷状態と 100%同じにする事はできません。これは、工場出荷用 HD に手動で設定を行っている部分があるためです。以下に、その内容を示します。

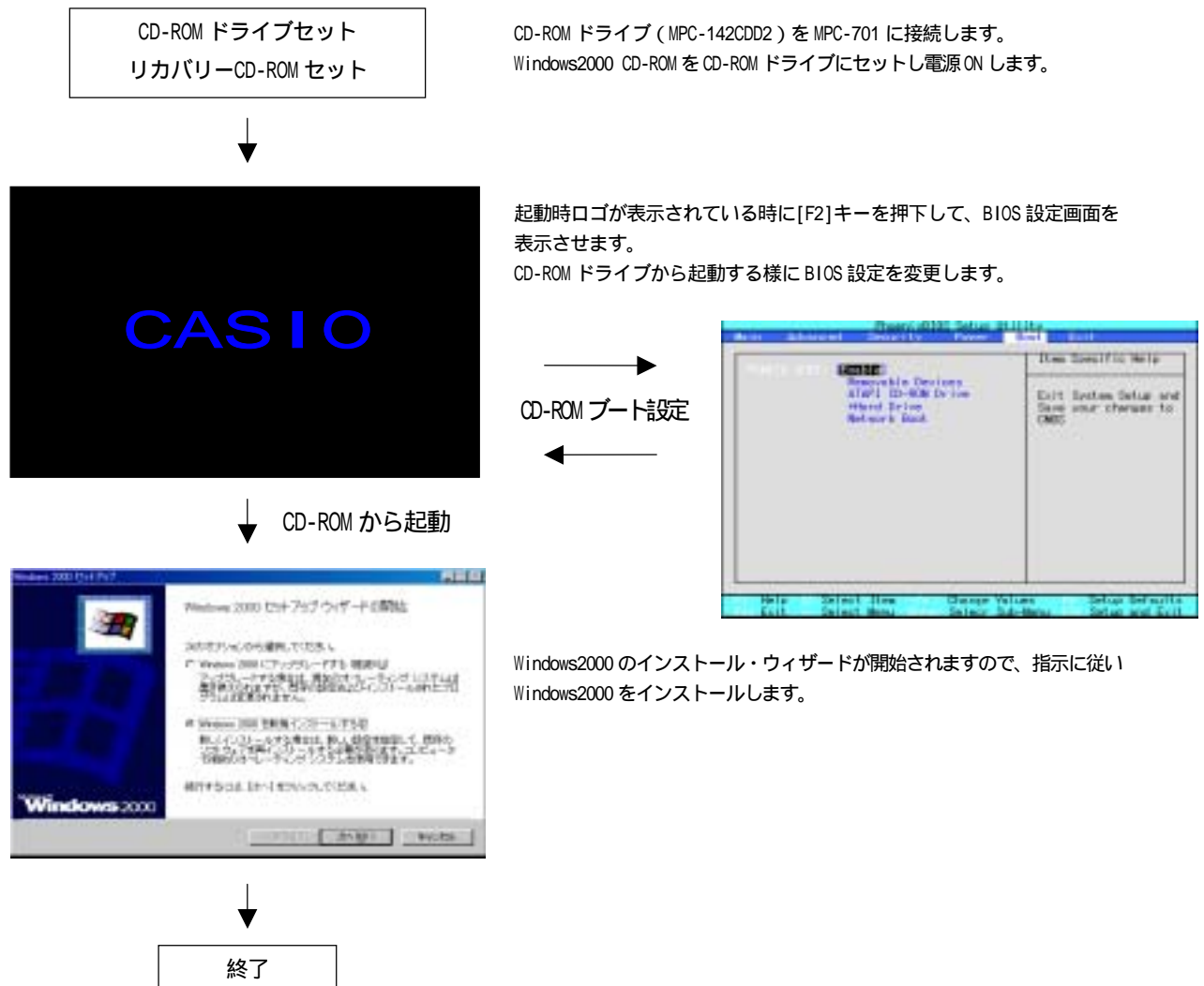
設定項目	設定内容および設定場所	出荷時設定
タッチパネル		
(1) 右クリック動作	[コントロールパネル]-[タッチパネル] -[タッチパネルの設定]-[タッチ動作]-[右クリック機能]	起動プログラムをタスクトレイに常駐させるプログラムをスタートアップに登録。
(2) データの転送速度	[コントロールパネル]-[タッチパネル] -[タッチパネルの設定]-[タッチ動作]-[座標データの転送速度]	2
ビデオ	Silicon Motion 社提供アプリケーションツール用タスクトレイ常駐アイコン	タスクトレイから削除 (詳細は7.1章を参照)
サウンド	PC スピーカー音量	1
電源管理	休止状態のサポート。 [コントロールパネル]-[電源オプション]-「休止状態」タブ-[休止状態]	ON
FAX のプロパティ	ユーザー情報。 [コントロールパネル]-[FAX]-[ユーザー情報]	氏名 = FIVA ユーザー様
ユーザーグループ	[コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]-「詳細」タブ-[高度なユーザー管理]-[グループ]	MobileCockpit (Administrator と同等)存在
ファイルフォーマット		NTFS

12.2 HDDにWindows 2000のみ導入

Windows2000 CD-ROM を使用することにより、Windows2000 のみを構築させる事が可能です。

この場合、ディスクのパーティション構成は自由ですが、ユーザーバックアップシステムは導入できません。

CD-ROM ドライブ (MPC-142CDD2) が必要です。 MPC-141CDD、MPC-142CDD、MPC-254DVD を含め、他のドライブでは実施できません。



Windows2000 のインストール完了後、リカバリ CD-ROM から MPC-701 独自のドライバ類の導入が必要です。

第13章 使用上の注意

本製品の用途について

本製品は一般事務機器として開発されていますので、輸送機器（航空機、列車、自動車等）、防災防犯装置、各種安全装置などの、機能、精度等において高い信頼性、安全性が必要とされる用途にご使用をお考えの際には、事前に弊社までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器等の、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途にはご使用しないで下さい。

製造物責任に関する注意

本仕様書に記載されています本製品の使用条件や使用上の注意事項などを逸脱して使用される事等に起因する損害に関しては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

ソフト概要解説書

最終ページ